

もおか

目次

P1 スポーツと笑顔の拠点
真岡ハイトラ運動公園P2 子育てコラム
真岡市の文化財P3 学校支援相談員の
おしごとP4 学校紹介(大内中学校)
Hot・ホットなコーナー

スポーツと笑顔の拠点 真岡ハイトラ運動公園

真岡ハイトラ運動公園（真岡市総合運動公園）は市民球場、サッカー場などの競技エリアと、子ども広場などの子育て世代向けエリアを備えた総合施設です。この冬、みんなで楽しみながら体を動かしてみませんか。

陸上競技場



400mトラックが8レーンあります。
個人利用ができます。

天然芝の
コートがある
サッカー場

ソフトボールや
サッカーができる!
多目的広場

でっかい遊具&
安心の年齢別エリア!
子ども広場

テニスコート



ナイター照明が完備されています。
壁打ちコートは無料で利用できます。

クラブハウス



更衣室、多目的トイレ、授乳室があり、暑い日にはワーリングシェルターとしても利用できます。

251台収容の
ビッグスケール!
大駐車場

夜間でも使える
人工芝コート!
運動広場1

歴史と伝統!
屋根付専用スペース
相撲場

多目的に使える!
ひろびろ&のびのび
東運動場

レッツプレイ!
野球の殿堂
市民球場

弓道場



有段者であれば誰でも利用できます。
市では体験教室も実施しています。

豆知識

運動公園は防災公園も兼ねており、災害時に「かまど」や「トイレ」に変わることで、ベンチがあります。



公園利用者の声



お気に入りはクラブハウスです。冷暖房も効いていて、みんなで勉強したりおしゃべりしたりするのにぴったりです。



「こども弓道教室」に参加しました。手足の動作が難しかったけれど楽しかったです。もっと練習して上手くなりたいです！



遊具は全部大好きで、何時間でも遊べます。休日は混んでいるので平日がおすすめ！！



競技施設の利用は予約が必要です。
利用詳細は真岡ハイトラ運動公園ホームページをご覧ください。
<https://www.moka-sogokoen.com>



子どもを
真ん中に

育てることは育つこと 教えることは学ぶこと



真岡市心理相談員
つむらやくみえ
圓谷 公美恵先生

わたしの亡き父は、昭和11年生まれでした。父は、小学校低学年で集団疎開を経験し、終戦間際の8月に年の離れた姉二人を空襲で亡くし、そのショックから今でいう鬱状態になってしまった母親も終戦後に亡くして……まだ幼い妹と二人、後妻である継母に仕方なしに育てられて大人になりました。家族をもってからは高度経済成長期の企業戦士そのもので、朝、嫌いだつたはずの軍歌を「行って～来るぞ～といさ～ましく～」と歌いながら家を出るのを見送るばかりで、帰ってくる姿はついぞ見たことがなく。18歳で働き始め、70歳で引退するまで、病気で会社を休む姿を一度も家族に見せることなく、駆け抜けました。

さて、そんな父には、いくつかの人生訓がありました。その一つが、「人生やなこと（嫌なこと）8割」。娘であるわたしが愚痴をこぼしたり、世の理不尽を訴えると、父はさも面倒くさそうに言うのです。「しようがないでしょう。人生やなこと8割だわ」。こう書いていても、父が中学生以降大人になるまでを過ごした中部地方のイントネーションがありありとよみがえります。若き日、わたしはこの言葉が大嫌いでした。なんという希望のない！そんなことない、あるはずがない、と足を踏みならし、歯がみしたものでした。

ところで、みなさん、「ネガティビティバイアス」というものをご存じでしょうか？実は人の記憶には、よいこと（ポジティブ）よりも悪いこと（ネガティブ）のほうが残りやすいのです。これは、危険や失敗を回避することで生き残ってきた生存戦略によるもので、「そういうふうにできている」んですね。かつて識者のどなたかがおっしゃっていましたが、「人は、幸福よりも不幸や恐怖に対する感度が高い。その証拠に、地獄の、微に入り細をうがった鮮烈な恐怖の数々に比べて、極楽のイメージのなんと、ふわーん、ぽやーん、正在のことか」というのも、こうした人の生存戦略のなせるわざなのかもしれません。

で、あるならば…年齢を経て「しょうがない」という言葉の奥深さを味わい、ポジティブに捉えられるようになった今のわたしは思います。よいことを2割挙げられたら、もう「上等」ということなのかも。この言葉は、時代に揉まれ、悲しみや困難の多い人生を送った父の、「それでも2割は」という意地のような、神様への談判だったのかもしれません。

「いやだ、いやだ。どうしてこんな」という苦しさにのまれそうになったとき、ちょっとだけ立ちどまって「よいこと」を探してみる。2割が見つかったなら、その陰には、きっと、わたしの生存本能が見逃したよいことがもっと潜んでいるはず……。そうやって、よいこと、やなことの収支に思いを巡らせる……。父の遺言は、今では、わたしのちょっとした心の健康法になっているのです。

—ご相談がありましたら学校教育課までお気軽にお声掛けください—

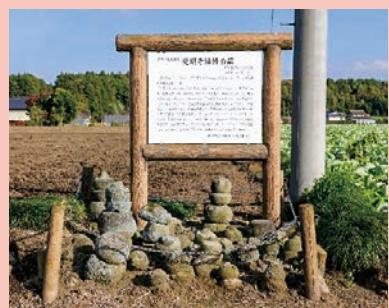
一真岡市の文化財一 No. 10

真岡市指定史跡 光明寺節婦の墓

菅原道真すがわらのみちまねが892年に編さんした『類聚国史るいじゅうこくし』に、下野国芳賀郡の吉弥侯部道足女よしやしほべみちたりめが、夫の下野公豊繼しもつけのきみどよづの死後、再婚せずにその死を悲しみ続けたことを褒められ、823年に少初位上しょじょういじょうの位が与えられ、一生税金を免除された話が書かれています。

同様の話が真岡市の若旅に伝わっており、豊繼が若旅の光明寺に住んでいた事から妻は「光明寺節婦」と呼ばれています。そして五輪塔が集められた場所が、その節婦の墓と言われています。

旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成	令和
紀元0年					西暦1000年					西暦2000年					



光明寺節婦の墓（若旅）

子どもたちの心を支える 「学校支援相談員」のお・し・ご・と

学校支援相談員は、児童生徒が安心して学校生活を送り、学習活動へ円滑に参加できるよう、児童生徒の日常的なサポートを行っています。

児童生徒が安心して学校生活を送るための心強いサポーターとして、真岡市で活躍する4名の学校支援相談員を紹介します。



すが また よう こ
菅俣 容子 先生
(真岡小学校)



心に寄り添い「一緒にいる」と安心する。と思つてもらえたなら嬉しいです。

さくらい あき ひこ
櫻井 明彦 先生
(真岡小・真岡東小学校)



学校での不安を少しでも軽減し、登校したいという気持ちが高まるようにサポートしています。

よこ やま よう こ
横山 要子 先生
(真岡東小学校)



安心して話せる環境を整え、その子の視線に合わせて、丁寧に聞くことを大切にしています。

さいとう あ ゆ み
齋藤 亜由美 先生
(真岡西小学校)



ご家庭や先生方と連携し、子どもたちの気持ちに寄り添ったサポートを心がけています。

学校支援相談員の主な仕事の内容

- 1 授業では、児童生徒一人一人のニーズに合わせて、先生の指示を一緒に確認したり、学習の準備を手伝つたりします。
- 2 児童生徒の悩みや不安を聴いて、心の負担を軽くするサポートを行います。
- 3 校内巡回による児童生徒への声掛けや様子の変化等の確認をします。
- 4 自分の持ち物の管理が苦手な児童生徒への支援や、移動が苦手な児童生徒の付き添いなど、生活面のサポートを行います。

学校支援相談員さんの心に残っているエピソードを紹介します！

長い間、心を閉ざしていたお子さんでしたが、毎日一緒に過ごす中で、打ち解けるようになりました。次第に遠くから手を振ってくれたり、声をかけてくれたりしました。卒業した今でも、連絡があり、つながりを持てていることが嬉しいです。

関わりを通して登校日が増え、友達と話をしたり、一緒に活動したりする姿を見かけると、とても嬉しい思います。

いつも以上に不安そうに登校した時に、一緒に話したり、勉強したりし、帰る時に「またね。」と言つたら「またね。」と笑顔で返してくれたことがとても嬉しかったです。

相談を継続していた児童が自立し、友達と笑顔で生活している様子を見ていると心が満たされます。児童から心のこもったお礼の手紙をいただき、宝物として大切にしています。

児童・生徒の個別相談や心理面の支援は、学校支援相談員だけでなく、心理相談員、SSW（スクールソーシャルワーカー）、SC（スクールカウンセラー）も行っています。各学校の教育相談担当者がつなぎ役となっていますので、ご相談ください。



次回は山前小学校です



大内中学校

学校スローガンを設定し、教職員が一丸となって、生徒の資質能力の育成を進めています。



大内中のHP

学校スローガン

G: Greeting(グリーティング)【挨拶・返事・対話力】 P: Plus(プラス)思考【個性伸長】
S: Scrum(スクラム)【一致団結】 C: Challenge(チャレンジ)【挑戦】

校舎

＼豊田教頭先生にインタビュー／



大内中学校は自然豊かな環境で地域と密接に関わりながら、生徒の個性を伸ばす教育を大切にしている学校です。中でも、生徒たちが一番盛り上がるのが、運動会の応援合戦です。声が枯れるまで応援し合う姿は、見る人を圧倒します。勝っても負けても、みんなが感動の涙を流し、卒業後も思い出となる大内中を代表するイベントです。また、1年生が取り組む地域学習は大内中ならではの活動で、多くの遺跡が残る大内地区を、自分たちの目線で調べ、研究します。地域の方々が先生となり、一緒に遺跡を巡りながら、ふるさとの歴史を深く学んでいます。大内中は今後も幅広い世代の方々との交流を大切にし、大内地区のシンボルになる学校づくりを継続していきます。



応援合戦の様子



応援合戦で盛り上がる生徒



ふるさとの歴史学習(地域との交流)



地域の先生(遺跡ジオラマ)



「対話力」対話のある授業



「個性伸長」文化祭での自由発表



「一致団結」合唱コンクール



「挑戦」各種部活動

Hot・ホットなコーナー



今号は真岡市内小学生の作品を紹介します！！



中村小 1年 岩本菜愛



大内西小 3年 渡邊蒼一



山前小 3年 布施 穂



長沼小 4年 大足優依

もう一歩努力するこころ おもいやりのこころ かんじ、考え、学ぼうとするこころ

パワーナンバー

皆様のご意見、ご感想をお寄せください
アンケートは[こちら](#)から！